

日本女性腎臓病医の会 募金趣意書

謹啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

日頃より本 JSWN（日本女性腎臓病医の会：Japanese Society of Women Nephrologists）の活動に対し、ご理解とご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

本会は、腎臓学領域の医療に従事している女性医師を対象とし、気概のあるプロフェッショナルリズムを持った医師、医療者の育成と、そのキャリア継続への支援を行うことを通し、腎疾患の診療および研究の発展に寄与し、広く社会に貢献することを目的として、日本全国的女性腎臓専門医の有志により、平成 15 年 7 月に設立され、23 年を経過いたしました。

爾来、より良い腎臓学・腎不全医療に関心を持ち、実践している医師が集い、地域レベルはもとより全国レベルで、斯学の進歩発展のみならず、広く社会に貢献できる女性医師の育成と活動のサポートのために JSWN 総会として学術集会を年 1 回、日本腎臓学会あるいは日本透析医学会のご理解のもと、その会期中に開催して、学修および相互の交流を深めております。

また、「女性」を特別視せず、一人の医師としてその能力と適性を客観的に評価し、活躍の場をさらに広げるとともに、女性腎臓専門医のキャリアを継続するための支援機構として運営することも、本会の重要な使命としており、この一環として、平成 27 年より「研究活動奨励賞」を設立いたしました。この賞には、全国の若手女性腎臓医の先生方から研究課題の応募をいただき、厳選な審査を経て、毎年 2 名の先生方が受賞されております。さらに、卒後早期の女性医師を対象とし、症例から学ぶリサーチマインド、研究活動へのスタートアップを支援するために症例報告論文賞を令和 3 年度から新たに応募いたしました。

これらの活動を通じて、ともすれば中断する可能性のある女性腎臓専門医のキャリア継続を促すことにより、腎臓学医療界の充実と活性化がもたされることは確実であり、また、昨今の医師不足の医療問題の一端を解決できる事と確信しております。

このような活動を推進しさらに継続させるためには、もとより経済的な裏付けが必要であり、これらを会員の会費のみで運営することには限界がございます。つきましては、広くこの分野でご活躍をされておられます貴施設・貴社におかれましては、本 JSWN の上記の趣旨をご理解いただき、当会への格別のご協力とご支援を賜りたく謹んでお願い申し上げます。

なお当会へのご支援ご貢献に際しましては、JSWN のホームページに掲載させていただいております。ご高覧いただければ幸いに存じます。

末筆ながら、まだまだ困難な情勢ではありますが、貴施設・貴社のますますのご繁栄を祈念申し上げます。

謹白

令和 8 年 7 月吉日

日本女性腎臓病医の会
代表世話人 片渕 律子



活 動 概 要

1. 会の名称及び代表者

名称：日本女性腎臓病医の会（Japanese Society of Women Nephrologists：JSWN）

代表者世話人：片渕 律子（加野病院）

2. 活動内容

目的：腎臓病医領域に従事している女性医師を対象とした、地域レベルおよび全国レベルでの「日本女性腎臓病医の会」学術集会を開催することにより、女性のネフロロジスト育成と地位の向上を図ることで、腎臓病、腎不全医療に貢献する。
上記の為以下の活動を行う。

- ① より良い腎臓病・腎不全医療に関心を持ち、実践している医師が集い、地域レベルおよび全国レベルで学術集会をそれぞれ年一回開催し、会員相互の交流と、問題意識の共有、専門分野のレベルアップを支援する。
- ② 若手の女性腎臓医の研究支援として「研究活動奨励賞」「症例報告論文賞」を設け、卓抜した研究課題に対して授与し支援を行う。
- ③ 「女性」を特別視せず、一人の医師としてその能力と適性を客観的に評価し、活躍の場をさらに広げ、斯学の進歩発展のみならず、広く社会的に貢献できる女性医師を各地域及び全国の学術集会時やメーリングリストを通じてサポートする。
- ④ 活動状況をホームページの運営および、冊子を通じて広く社会に広報し、さらなる共感者を集い、その貢献度を広げる。

3. 学術集会履歴

第1回 JSWN 総会	平成15年6月21日(土)	大阪
第2回 JSWN 総会	平成16年6月19日(土)	神戸
第3回 JSWN 総会	平成17年6月25日(土)	横浜：パシフィコ横浜
第4回 JSWN 総会	平成18年6月24日(土)	横浜：パシフィコ横浜
第5回 JSWN 総会	平成19年5月26日(土)	浜松：アクトシティ浜松
第6回 JSWN 総会	平成20年6月21日(土)	神戸：神戸ポートピアホテル
第7回 JSWN 総会	平成21年6月5日(金)	横浜：ヨコハマグランドインターコンチネンタルホテル
第8回 JSWN 総会	平成22年6月18日(金)	神戸：神戸ポートピアホテル
第9回 JSWN 総会	平成23年6月17日(金)	横浜：ヨコハマグランドインターコンチネンタルホテル
第10回 JSWN 総会	平成24年6月23日(土)	札幌：センチュリーロイヤルホテル
第11回 JSWN 総会	平成25年5月10日(金)	東京：八重洲富士屋ホテル
第12回 JSWN 総会	平成26年6月14日(土)	神戸：ホテルパールシティ神戸
第13回 JSWN 総会	平成27年6月6日(土)	名古屋：サイプレスガーデンホテル
第14回 JSWN 総会	平成28年6月11日(土)	大阪：堂島ホテル
第15回 JSWN 総会	平成29年5月26日(金)	仙台：TKP ガーデンシティ仙台
第16回 JSWN 総会	平成30年6月29日(金)	神戸：神戸ポートピアホテル
第17回 JSWN 総会	令和元年6月21日(金)	名古屋：サイプレスガーデンホテル
第18回 JSWN 総会	令和3年6月18日(金)	オンライン開催
第19回 JSWN 総会	令和4年7月1日(金)	オンライン開催
第20回 JSWN 総会	令和5年6月9日(金)	ハイブリッド開催 横浜：TKP ガーデンシティ PREMIUM みなとみらい
第21回 JSWN 総会	令和6年6月8日(土)	横浜：TKP ガーデンシティ PREMIUM みなとみらい
第22回 JSWN 総会	令和7年6月20日(金)	横浜：TKP ガーデンシティ PREMIUM 横浜ランドマークタワー
第23回 JSWN 総会	令和8年6月19日(金)	ハイブリッド開催 神戸：スペースアルファ三宮

なお、総会（学術集会）の詳細な内容は、JSWN のホームページ <https://www.m-toyou.com/jswn/> をご参照ください。

募 金 概 要

1. 組織及び代表者

【代表者】	片渕 律子	加野病院 副院長
【顧問】	原 茂子	原プレスセンタークリニック 腎臓内科 院長
	湯村 和子	東北医科薬科大学病院 腎臓内分泌内科 臨床教授
	武曾 恵理	京都華頂大学現代生活学部・食物栄養学科 専任教授

【世話人一覧】

代表世話人	片渕 律子	加野病院		
世話人	西尾 妙織	北海道大学	久志本浩子	公立西知多総合病院
	宮崎真理子	石巻赤十字病院	辻 尚子	浜松医科大学
	杉本 理絵	仙台赤十字病院	新田 華代	一宮市立市民病院
	島田美智子	弘前大学	足立 陽子	JCHO 神戸中央病院
	濱田千江子	順天堂大学	中村 敏子	深江クリニック
	若井 幸子	大久保病院	宮田 仁美	京都桂病院
	竹本 文美	東都クリニック	清水 優佳	広島病院
	松尾 七重	東京慈恵会医科大学	西川 真那	倉敷中央病院
	松澤 史	寿町腎・内科クリニック	吉金かおり	出雲市民病院
	三村維真理	東京大学	西島 陽子	香川大学
	清水 美保	金沢大学	岡崎 曜子	北村病院
	伊藤 由美	新潟大学	鳥巢久美子	九州大学大学院
	保坂 聖子	新潟市民病院	田中 元子	あけぼのクリニック
	佐藤 弘恵	新潟大学	牟田久美子	長崎大学
	武田 朝美	増子記念病院	稲垣 浩子	宮崎大学

会計責任者 宮崎真理子 石巻赤十字病院 腎臓内科

会計監事 菅原 有佳 東京大学医学部附属病院

2. 目的

腎臓病医学領域に従事している女性医師を対象として地域レベルおよび全国レベルで学術集会を開催することにより、女性のネフロロジスト育成と地位の向上を図ることで、腎臓病、腎不全医療を通して社会に貢献する。

3. 情報公開

本学会を開催するにあたり、製薬会社と医療機関等との関係の透明性を確保するために、日本製薬工業協会の「企業活動と医療機関等の関係の透明性ガイドライン」およびそれに準じて定めた御社の定めた指針に基づき、御社が負担する費用を情報公開することに同意します。

4. 寄付金の振込方法

(ア) (公財) 日本腎臓財団へご寄付くださる方

日本腎臓財団は内閣府より認定された「公益財団法人」ですので、個人・法人ともに損金処理のできる寄付金として、寄付優遇の免税措置が受けられます。

また、個人においては住民税(※)についても免税措置が受けられます。

(※都道府県または市区町村によって異なります。)

同封の「(公財) 日本腎臓財団が実施する学会助成・研究助成に対する寄付のお願い」にご同意いただき、ご寄付くださる方は指定の振込方法に従ってお振込み下さい。

また、お手数ながら寄付申込書を(公財) 日本腎臓財団宛てに郵送または FAX にて必ずお送り下さるようお願い申し上げます。寄付申込書により入金を確認を行っておりますので、寄付申込書のご提出がない場合は領収書の発行が遅くなりご迷惑をおかけする場合がございます。

ご協力の程、何卒よろしくお願い申し上げます。

(イ) 日本女性腎臓病医の会へご寄付くださる方

当会の趣旨にご賛同いただける方は添付の研究会名が記載された「寄付申込書」をご記入の上、指定の研究会宛先まで FAX 等でお送り下さい。

また寄付金は以下の口座へお振込み下さいますようお願い申し上げます。

【お振込先】

銀行名：福岡銀行 支店名：古賀支店 (店番 295)

口 座：普通預金 1 9 8 8 5 4 5

受取人：日本女性腎臓病医の会 代表 片渕律子

(ニホンジョセイジンゾウビヨウイノカイ ダイヒョウ カタフチリツコ)

5. 本会に関するお問い合わせ先

【組織事務局】

宮崎 真理子 石巻赤十字病院 腎臓内科

〒986-8522 宮城県石巻市蛇田字西道下 71 番地

Email : japanesewomennephrologists@gmail.com / mariko.miyazaki.d4@tohoku.ac.jp

【運営事務局】

株式会社メディカル東友 コンベンション事業部

〒243-0013 神奈川県厚木市泉町 3-14

TEL : 046-220-1705 E-mail : jswnoffice@mtz.co.jp

収 支 決 算 書
(自 令和7年4月1日 ～ 至 令和8年3月31日)
学術研究名
日本女性腎臓病医の会 (JSWN)

代表者 日本女性腎臓病医の会 代表世話人 片渕 律子

所 属 加野病院 副院長 / 腎臓内科



(単位:円)

<収入の部>

区 分	項 目	予算額	決算額	差 異	備 考
収 入	会費収入	300,000	302,000	-2,000	個人会員@3000円×54口、世話人@5000円×28口
	参加費収入	120,000	132,000	-12,000	現地参加@3000円×44口
	懇親会参加費収入	0	0	0	
	書籍売上収入	0	0	0	
	広告料収入	0	132,000	-132,000	バナー広告@33,000円×4社
	寄付金	700,000	2,356,293	-1,656,293	医薬品会社、医療機器会社、関連病院、一般企業など
	助成金	1,000,000	0	1,000,000	(公財)日本腎臓財団
	受取利息	20	2,423	-2,403	普通預金利息
	雑収入	0	0	0	
	当 期 収 入 合 計 (1)	2,120,020	2,924,716	-804,696	
	前年度からの繰越額(2)	433,847	433,847	0	
	収 入 合 計 (1)+(2)=(3)	2,553,867	3,358,563	-804,696	

<支出の部>

区 分	項 目	予算額	決算額	差 異	備 考		
支 出	管理費	人件費	0	0	0		
		通信費	100,000	2,962	97,038	郵送費（源泉税支払証明証、寄付領収書）	
		備品費	0	0	0		
		事務用消耗品費	0	0	0		
		図書費	0	0	0		
		雑費	330,000	707,300	-377,300	ホームページリニューアル費用、更新費	
		小計	430,000	710,262	-280,262		
	研究会 講習会 勉強会	運営費	会場費	240,000	141,625	98,375	TKPガーデンシティPREMIUM横浜ランドマークタワー
			付帯設備費	100,000	115,500	-15,500	インターネット回線、スイッチャー、演者用PC、プロジェクター、スクリーンなど
			委託費	181,500	240,761	-59,261	参加登録事前事務局
			人件費	120,000	55,000	65,000	進行ディレクター1名
			会議費	240,000	181,500	58,500	懇親会食事@30名
			招請費	55,685	55,685	0	講師派遣費（所得税、復興税含む）
			旅費交通費	41,000	0	41,000	
			印刷費	550,000	168,894	381,106	2025年度研究活動奨励賞募集要項（カラー）、同応募用紙、2025年度症例報告論文賞募集要項（カラー）、同応募用紙、リーフレット、名刺、A2ポスター（カラー）
			雑費	0	0	0	
			小計	1,528,185	958,965	569,220	
	研究開発費	材料費	0	0	0		
		備品費	0	0	0		
		検査費	0	0	0		
		調査研究費	0	0	0		
		症例謝礼	0	0	0		
		小計	0	0	0		
	研修費	研修生手当	0	0	0		
		小計	0	0	0		
	学会参加費	(発表を伴うもの)					
		参加費	0	0	0		
		旅費交通費	0	0	0		
		(それ以外)					
		参加費	0	0	0		
委託費	旅費交通費	0	0	0			
	小計	0	0	0			
	委託費	275,000	264,000	11,000	事務等委託諸費(株式会社ピーシーオーワークス、株式会社メディカル東友)		
	小計	275,000	264,000	11,000			
その他	研究助成費	289,562	0	289,562			
	支払手数料	20,000	31,968	-11,968	銀行振込手数料、オンライン決済手数料		
	予備費	11,120		11,120			
	小計	320,682	31,968	288,714			
当 期 支 出 合 計 (4)		2,553,867	1,965,195	588,672			
当期収支差額 (1)-(4)		-433,847	959,521	-1,393,368			
次年度へ繰越 (3)-(4)		0	1,393,368	-1,393,368			

上記の通り相違ありません。

令和7年3月31日

会計責任者 東北大学大学院 医学系研究科腎臓内科学分野
宮崎 真理子



収 支 予 算 書
(自 令和8年4月1日 ～ 至 令和9年3月31日)
学術研究名
日本女性腎臓病医の会 (JSWN)

代表者 日本女性腎臓病医の会 代表世話人 片瀨 律子 @

所 属 加野病院 副院長 / 腎臓内科



(単位:円)

<収入の部>

区 分	項 目	予算額	決算額	差 異	備 考
収 入	会費収入	300,000		300,000	個人会員@3000円×50口、世話人@5000円×30口
	参加費収入	120,000		120,000	現地参加@3000円×40口
	懇親会参加費収入	0		0	
	書籍売上収入	0		0	
	広告料収入	846,000		846,000	バナー広告@132,000円×3社、抄録集広告@100,000円×2社、@50,000円×5社
	寄付金	700,000		700,000	医薬品会社、医療機器会社、関連病院、一般企業など
	助成金	500,000		500,000	(公財)日本腎臓財団
	受取利息	0		0	普通預金利息
	雑収入	0		0	
	当 期 収 入 合 計 (1)	2,466,000	0	2,466,000	
	前年度からの繰越額(2)	1,393,368	0	1,393,368	
	収 入 合 計 (1)+(2)=(3)	3,859,368	0	3,859,368	

<支出の部>

区 分	項 目	予算額	決算額	差 異	備 考
支 出	管理費	人件費	0	0	
		通信費	200,000		200,000 郵送料(ポスター、寄付領収書、抄録集)
		備品費	0		0
		事務用消耗品費	0		0
		図書費	0		0
		雑費	440,000		440,000 ホームページ更新費
		小計	640,000	0	640,000
	研究会 講習会 運営費 勉強会	会場費	400,000		400,000 スペースアルファ三宮
		付帯設備費	630,000		630,000 映像・音響・照明設備、設備備品使用料、配信費用
		委託費	198,000		198,000 参加登録事前事務局
		人件費	165,000		165,000 進行ディレクター1名、映像オペレーター2名
		会議費	240,000		240,000 懇親会食事@30名
		招請費	105,685		105,685 国内講師 謝金1名(源泉税含む)、交通費1名、宿泊費1名
		旅費交通費	180,000		180,000 事務局・スタッフ 交通費4名、宿泊費4名
		印刷費	970,000		970,000 研究活動奨励賞募集要項(カラー)、症例報告論文賞募集要項(カラー)、リーフレット2000枚、ポスター50枚(カラー)、抄録集150部
		雑費	0		0
		小計	2,888,685	0	2,888,685
	研究開発費	材料費	0		0
		備品費	0		0
		検査費	0		0
		調査研究費	0		0
		症例謝礼	0		0
		小計	0	0	0
	研修費	研修生手当	0		0
		小計	0	0	0
	学会参加費	(発表を伴うもの)			
		参加費	0		0
		旅費交通費	0		0
		(それ以外)			
		参加費	0		0
	委託費	委託費	264,000		264,000 事務等委託諸費(株式会社メディカル東友)
		小計	264,000	0	264,000
	その他	支払手数料	50,000		50,000 銀行振込手数料、オンライン決済手数料
		予備費	16,683		16,683
		小計	66,683	0	66,683
	当 期 支 出 合 計 (4)	3,859,368	0	3,859,368	
	当期収支差額(1)-(4)	-1,393,368	0	-1,393,368	
	次年度へ繰越(3)-(4)	0	0	0	

上記の通り相違ありません。

令和8年3月31日

会計責任者 東北大学大学院 医学系研究科腎臓内科学分野

宮崎 真理子



(日本女性腎臓病医の会へご寄付くださる方へ)

返信用 FAX: 046-220-1706 E-mail: jswnoffice@mtz.co.jp

領収証発行の際必要となりますので、お手数ですが FAX または E-mail にて必ずご送付の程お願い申し上げます。

寄 付 申 込 書

日本女性腎臓病医の会 御中

申込日 年 月 日

日本女性腎臓病医の会の趣旨に賛同し、
下記金額を寄付金として申し込みます。

金

円 也

御芳名または法人名：
(領収証宛名)

謝 辞 掲 載 名：

御 住 所：
☐ 掲 載 不 要

御 担 当 者 名：

TEL：
FAX：
E-mail：

振 込 予 定 日：

寄付申込書送付先

日本女性腎臓病医の会 運営事務局

株式会社メディカル東友 コンベンション事業部

〒243-0013 神奈川県厚木市泉町 3-14

TEL: 046-220-1705 FAX: 046-220-1706 E-mail: jswnoffice@mtz.co.jp

*日本女性腎臓病医の会へのご寄付に対する免税措置はございません。予めご了承ください。



令和8年6月吉日

関係者の皆様

公益財団法人 日本腎臓財団
理事長 山本 裕 康



公益財団法人 日本腎臓財団が実施する学会助成・研究助成に対する寄付のお願い

謹啓 貴殿におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

腎に関する研究・調査活動、腎臓病患者さんの社会復帰に対する助成・援助を主たる目的として設立された当財団の各種事業につきましては、平素から格別のご高配を賜り、誠にありがたく厚く御礼申し上げます。おかげをもちまして、当財団は昭和47年の設立以来、事業は年々向上と充実の一途を辿り、我が国の腎臓学の進歩に大きく貢献しております。これも、ひとえに皆様のご支援の賜物と深く感謝申し上げる次第でございます。

今回財団がいただいたご寄付は、95%を腎臓に関係する学会開催・運営のための助成、腎臓に関係する研究会など研究団体への助成に、残りの5%は財団の公益目的事業と財団運営のために有効に使わせていただきます。

なお、当財団は内閣府より認定された「公益財団法人」ですので、個人・法人ともに所得税について損金処理のできる寄付金として、寄付優遇の免税措置が受けられます。また、個人においては住民税(※)についても免税措置が受けられます。(※都道府県または市区町村によって異なります。)

つきましては、諸事ご多端のところ誠に恐縮ではございますが、何卒以上の事情をご賢察下さいまして格段のご支援、ご高配を賜りたく謹んでお願い申し上げます。

敬 白

寄付金の募金要項と振込方法について(ご案内)

募金の名称 (公財)日本腎臓財団の事業目的に対する寄付

当財団がいただいたご寄付のうち、95%は腎臓に関係する学会開催・運営のための学会助成、腎臓に関係する研究会など研究団体が実施する研究・調査活動等のための研究助成に使わせていただきます。

なお、残りの5%は公益目的事業と財団運営のために有効に使わせていただきます。

税 制 上 の 優 遇 措 置

(公財)日本腎臓財団は公益財団法人として内閣府より認定を受けましたので、当財団へ寄付金としてお振込みいただきますと、(公財)日本腎臓財団からは領収書が送付され、貴寄付金は個人、法人ともに所得税について損金処理のできる寄付金として、また個人においては住民税(※)についても寄付優遇の免税措置が講ぜられます。(※ 都道府県または市区町村によって異なります)

寄 付 金 の 振 込 方 法

趣旨にご賛同いただき、(公財)日本腎臓財団にご寄付いただけます場合には、下記 1. または 2. へのお振込みをお願い申し上げます。

1. ゆうちょ銀行へお振込みの場合

口座番号 : 00100 - 5 - 180139
口座名 : 公益財団法人 日本腎臓財団
※ 口座名カナ : ザイ) ニホンジンゾウザイダン

2. みずほ銀行へお振込みの場合

銀行名 : みずほ銀行 虎ノ門支店
口座番号 : 普通預金 1296181
口座名 : 公益財団法人 日本腎臓財団
※ 口座名カナ : ザイ) ニホンジンゾウザイダン

※口座名は「公益財団法人 日本腎臓財団」、口座名カナは「ザイ) ニホンジンゾウザイダン」となりますので、ご注意くださいようお願い致します。

連絡先 : 〒102-0074

東京都千代田区九段南3-2-7

公益財団法人 日本腎臓財団

TEL 03(6910)0588 FAX 03(6910)0589

((公財)日本腎臓財団にご寄付下さる方へ)

返信用

領収書発行の際必要ですので、お手数ですがFAX 03-6910-0589
まで必ずご返送の程お願い申し上げます。

20422 D-T

寄付申込書

公益財団法人 日 本 腎 臓 財 団 御中

令和 年 月 日

(公財)日本腎臓財団の事業目的に賛同し、下記金額を公益目的事業及び
その運営、並びに財団運営に対する寄付金として申し込みます。

金

円 也

御 芳 名 又 は 法 人 名:

(領 収 書 宛 名)

御 住 所:〒

御 担 当 者:

TEL

FAX

振 込 予 定 日:

振 込 み 先: どちらかに○を付けてください。

1. ゆうちょ銀行
2. みずほ銀行

寄付申込書送付先

〒102-0074 東京都千代田区九段南3-2-7

公益財団法人 日 本 腎 臓 財 団

TEL 03(6910)0588 FAX 03(6910)0589